

(仮称) 吹田市立スタジアム建設事業供用後中間報告

2016年8月8日

市立吹田サッカースタジアム指定管理者

(株式会社ガンバ大阪)

1. 供用後の利用状況

供用開始は2015年10月1日。供用後の試合開催実績は下記の通り。

◆ 試合開催実績

J1 平均来場者数：22,716人

J3 平均来場者数：3,242人

日にち	キックオフ	J1	ACL	J3	その他	対戦相手	来場者数
2月14日(日)	14:30				柿落	名古屋	35,271人
2月28日(日)	14:00	○				鹿島	32,463人
3月2日(水)	19:00		○			メルボルン	14,270人
3月11日(金)	19:00	○				大宮	20,535人
3月13日(日)	14:00			○		YS横浜	3,359人
3月20日(日)	14:00			○		盛岡	2,870人
4月2日(土)	19:00	○				横浜	34,231人
4月6日(水)	19:00		○			上海	14,756人
4月10日(日)	14:00			○		C大阪U23	8,038人
4月15日(金)	19:00	○				柏	13,731人
4月19日(火)	19:00		○			水原	10,846人
4月29日(祝)	13:00	○				川崎	33,941人
5月13日(金)	19:00	○				磐田	17,299人
6月7日(火)	16:00 19:30				代表	ブルガリア VS デンマーク 日本 VS ホンズア	35,589人
6月11日(土)	14:00	○				湘南	22,257人
6月15日(水)	19:00	○				浦和	29,397人
6月19日(日)	17:00			○		栃木	1,770人
6月25日(土)	19:00	○				名古屋	33,546人
7月3日(日)	17:00			○		長野	1,862人
7月9日(土)	19:00	○				仙台	19,482人
7月17日(日)	19:00	○				福岡	23,540人
7月18日(祝)	14:00				イベント	ファン感謝イベント	8,700人
7月24日(日)	17:00			○		福島	1,552人

2. 供用後の来場者動向

- ・ 試合開催時（J3 除く）の来場者動向は下記の通り。
- ・ 駐車場の予約制も安定的に運用できるようになっており、特に混乱等は生じていない。
- ・ 予想を上回るお客様がモノレールをご利用いただいていると推定されるが、大規模な入場規制・乗車規制等は発生していない。
- ・ 随時、誘導員なども増員しながら、安全・安心な誘導を心がけている。

月	日	曜日	キックオフ	入場者	車				バイク 計	自転車 計	バス				モノレール 徒歩・他
					南	東	中央	計			茨木	北千里	難波	計	
2	14	日	14:30	35,271	1,195	1,960	980	4,135	187	2,174	1,816	711	—	2,527	26,248
	28	日	14:00	32,463	1,025	1,463	1,460	3,948	314	2,000	1,700	695	—	2,395	23,807
3	2	水	19:00	14,270	1,668	705	570	2,943	263	1,200	732	295	—	1,027	8,838
	11	金	19:00	20,535	1,758	1,105	828	3,690	254	1,500	1,092	364	—	1,456	13,635
4	2	土	19:00	34,231	1,543	1,885	473	3,900	301	2,410	2,017	—	—	2,017	25,603
	6	水	19:00	14,756	1,550	1,435	0	2,985	252	1,100	862	—	—	862	9,557
	15	金	19:00	13,731	1,895	1,185	0	3,080	233	1,200	1,031	—	—	1,031	8,187
	19	火	19:00	10,846	1,825	593	0	2,418	224	994	640	—	—	640	6,571
	29	祝	13:00	33,941	1,928	1,948	0	3,875	271	1,500	2,034	—	—	2,034	26,261
5	13	金	19:00	17,299	1,470	1,595	0	3,065	309	1,500	1,260	—	—	1,260	11,165
6	7	火	19:30	35,589	1,313	1,890	948	4,150	212	1,200	2,158	—	—	2,158	27,869
	11	土	14:00	22,257	1,888	938	843	3,668	237	1,980	984	—	—	984	15,389
	15	水	19:00	29,397	2,033	1,870	920	4,823	438	2,000	1,996	—	83	2,079	20,058
	25	土	19:00	33,546	2,038	1,468	988	4,493	260	1,250	2,183	—	116	2,299	25,245
7	9	土	18:30	19,482	1,955	1,085	958	3,998	234	1,400	1,059	—	78	1,137	12,714
	17	日	19:00	23,540	1,923	1,443	0	3,365	328	2,800	1,440	—	80	1,520	15,527
平均利用人数				24,447	3,658				270	1,638	1,589				17,292
分担率				100%	15%				1%	7%	7%				71%

(参考)

評価書利用想定	40,500	4,900	1,800	4,500	11,900	17,400
評価書分担率予測	100%	12%	4%	11%	29%	43%

3. 環境取り組みの実施状況

(1) 地球環境・ヒートアイランド

① CASBEE Sランクのサッカースタジアムの実現

- ・自然エネルギーを最大限活用したスタジアムとしたことを評価いただき、「大阪府建築物環境評価システム」において最高ランクのSランクをサッカースタジアムでは初めて取得した。

《導入設備》

- ・ナイター照明の全面LED化（新設スタジアムでの全面採用は日本初）
- ・太陽光パネル2100枚の設置により500kWの太陽光発電を実現
(国内スタジアムでは最大規模)
- ・外気を取り入れた芝生への自然通風を活用
- ・雨水を利用して、芝生への散水やトイレの洗浄水として利用 等

② ヒートアイランド現象の抑制

- ・周辺緑化に高木を分散配置したほか、透水性舗装を採用するなどヒートアイランド現象の抑制に寄与している。
- ・選手がプレーする芝生は天然芝を敷設している。

③ 施設供用時における影響の低減

- ・三井不動産実施のEXPOCITYと連携して電力の一括受電を実現。
ピークカットに寄与するとともに、有事の際の電力融通も実現可能となった。
- ・関係事業者の選定において、通勤はできるだけ公共交通機関を利用するよう求めている。

(2) 廃棄物

- ・スタジアム内で発生したゴミは分別して回収することを基本とし、試合開催時はイベント主催者に対して、ゴミの分別回収等を依頼。
- ・スタジアム内で利用する紙コップなどの梱包材について、統一包材を導入。スタジアム内飲食店などでの利用を義務付けている。将来的には、利用からリサイクルへの循環を確立させるべく準備中。

① 施設供用時の廃棄物の減量・リサイクル

- ・イベント主催者は試合開催時、ボランティアの協力のもとゴミの分別回収を実施している。
また、その際学生ボランティア等を活用することによって、環境教育の側面も担っている。

(3) 大気・騒音・振動

① 施設からの騒音等の抑制

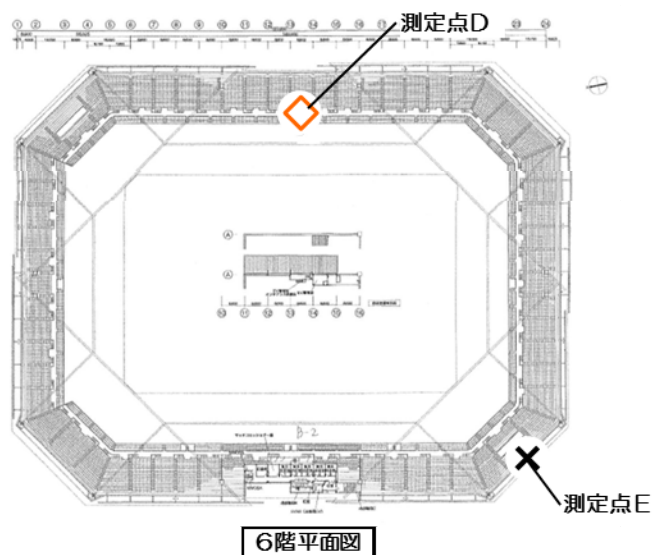
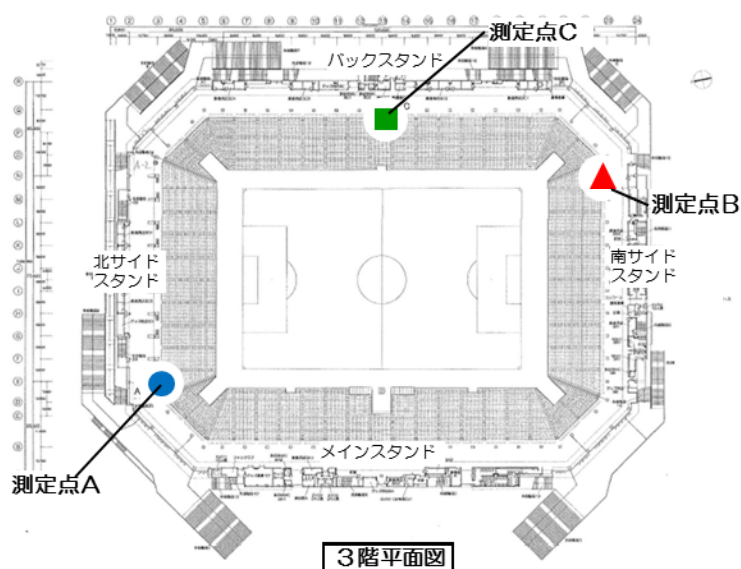
- ・観客席全面を屋根で覆い、外部への音漏れが小さくなるような設計としている。
- ・指向性の高いスピーカーを設置し、演出音量などについても十分な対策を行っている。
- ・外部への振動影響がでないような構造とするとともに、振動実験も実施済み。
- ・応援ルールについてもホームページなどで来場者へ事前告知を行うよう、イベント主催者へ依頼。主催者も積極的に協力の体制もっている。

- ・騒音、振動ともに、周辺住民の皆様のご意見は現在のところ一切なし。
過去利用していた万博記念競技場と比べて、静かになったとのご意見をいただいている。

② キリンカップサッカー2016 の開催

- ・2016年6月7日に公益財団法人日本サッカー協会主催にて『キリンカップサッカー2016』を本スタジアムにて開催。(16時および19時30分の2試合を同日に行う大会)
- ・試合終了時間が21時を越えるが、2020年東京オリンピックのサッカー競技の会場誘致をめざし、スタジアム所有者である吹田市の協力のもと大規模国際大会を実施するにいたった。
- ・開催にあたっては、周辺自治会への説明を行い、ご理解を得た上で実施した。あわせてスタジアム内での騒音調査等も行い、周辺への影響の程度を確認した。騒音測定結果は下記の通りであり、環境影響評価における騒音予測の前提とした類似施設での測定結果と同程度となっており、周辺への影響の程度も、環境影響評価における予測結果と同等と考えられる。

キリンカップサッカー測定結果		類似施設測定結果	
測定点	騒音レベル (L_{A5})	騒音レベル (L_{A5})	キリンチャレンジカップ (2012年2月24日:長居スタジアム)において測定
A	91.0	90.8	
B	89.9		
C	90.2		
D	91.8		
E	92.2		



- ・騒音および交通対策も含め、周辺住民の皆様からのご意見もなく無事開催できた。

③ 夏季期間における熱中症対策

- ・試合開催時は騒音対策のため、基本場内の扉は閉鎖して運用している。
- ・イベント主催者より夏季期間の来場者熱中症対策として、扉の開放への強い要望を受け、吹田市と協議の上、一部扉を開ける運用を実施。
- ・扉開閉の基本ルールは下記の通り。周辺への騒音影響を最小限に抑えるため、扉の開放エリアを限定して運用。

気温	WBGT	不快指数	対応
28℃～31℃	25～28	75～79	観客席部分の状況によりホームゴール裏扉を開放
31℃～35℃	28～31	80～84	観客席部分の状況によりホームゴール裏、メインスタンドを中心に開放
35℃～	31～	85～	観客席部分の状況により扉開放可否決定

- ・現時点で、周辺住民の皆様からの苦情などご意見は寄せられていない。

(4) 景観

- ・大阪府と協議の上、万博記念公園の景観と調和した設計としている。

(5) 交通

- ・公共交通機関での来場を基本とし、大規模イベント（概ね 10,000 人以上の来場が見込まれるイベント）開催時にはイベント主催者に対して、公共交通の増便協議や駐車場の予約制導入などを依頼。
- ・イベント主催者が交通計画を策定できるよう、指定管理者として各イベントの来場者動向の把握や公共交通利用結果のデータ収集につとめている

① 自動車来場台数の制限対策

- ・大型イベント開催時に自家用車の来場を抑制するため、イベント主催者が最大 2000 台の大阪府万博記念公園駐車場を事前確保し、予約制を実施。
- ・回数を重ね、予約制も定着してきたため、安定的に運用されている。

② 公共交通機関の利用促進対策

- ・イベント主催者および大阪高速鉄道が協議の上、大型イベント開催時にはモノレールの増便を実施。大規模な入場規制・乗車規制等は発生していない。
- ・イベント主催者およびバス事業者が協議の上、大型イベント開催時には臨時バスを、JR 茨木行き（2月～現在）、阪急北千里行き（2月～3月）、大阪および難波行き（6月～現在）を運行。今後も交通事業者と連携し、お客様の利用希望を反映した路線を整備予定。

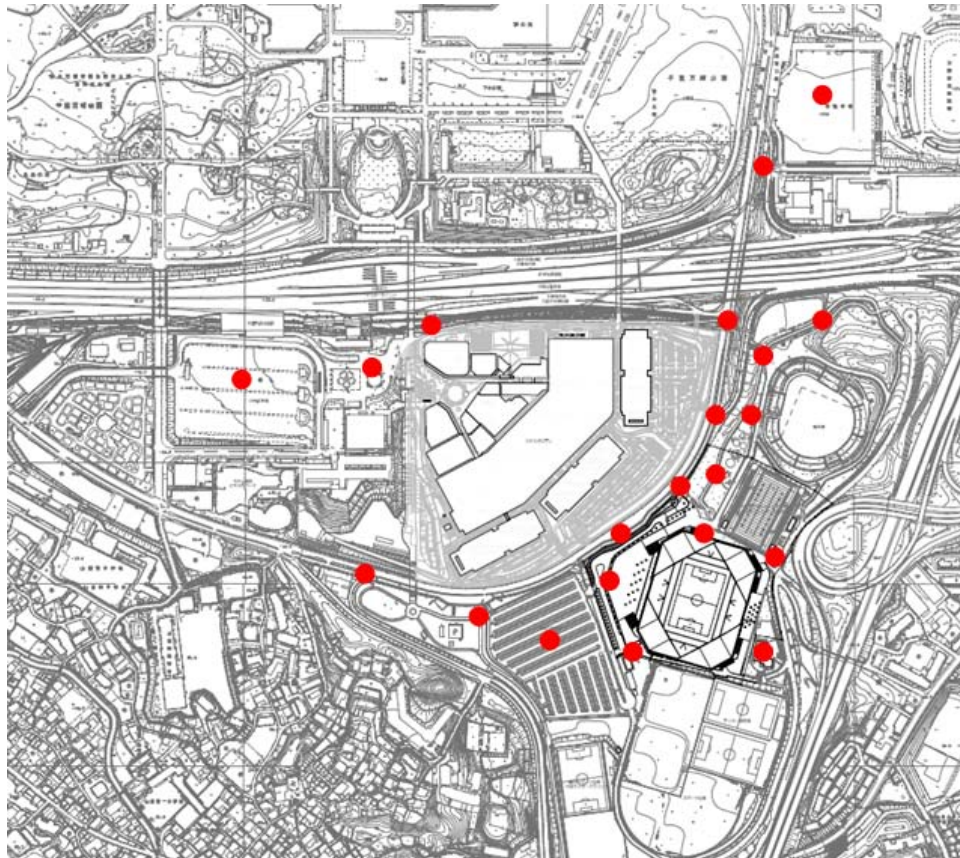
③ 快適・安全な通行の確保

- ・大型イベント開催時には、イベント主催者が交通整理員を配置し、安全な誘導を実現。

(例) ガンバ大阪主催 J1 リーグ開催時の来場者動線 (帰宅時) (HP 掲載内容)



(例) ガンバ大阪主催 J1 リーグ開催時の重点配置エリア (整理員 120 名程度配置)



- ・ イベント主催者として、来場者の安全を優先し、分散帰宅を実現すべく、出口制限を行い、場内への滞留時間の延長を実現。

(例) ガンバ大阪主催 J1 リーグ開催時の実施例 (HP 掲載内容)



④ その他

- ・ さらなる快適な交通計画実現のため、吹田市が主導して吹田警察、大阪府、指定管理者等からなる協議の場を開催予定
- ・ 自治会等との情報交換の場を定期的に設け、周辺住民の皆様の見解を反映して、臨機応変に対応を行っている